

報道関係各位

武蔵野美術大学と富士見中学校高等学校が 高大連携デザイン教育プロジェクトを実施



学校法人山崎学園

富士見中学校高等学校

FUJIMI Junior & Senior High School

武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市/学長：榊山祐和 以下、本学）と富士見中学校高等学校（所在地：東京都練馬区/学校長：佐藤真樹）は、高大連携デザイン教育プロジェクトを実施します。

プロジェクト概要

富士見中学校高等学校の高校1年生を対象に、本学造形構想学部クリエイティブイノベーション学科（以下、CI学科）の学生が課題探究をベースとした高校生向けデザイン授業を企画し、実際に授業運営を行います。昨今新たなデザイン教育や探究授業を進めようとする高校教育の場において、美術大学が基軸としてきたアート・デザインに通底する造形教育を通して「創造的思考力」や「構想力」を養うCI学科のカリキュラムでの学びを活かし、大学と高校の共創を図ります。

【本学学生が実践する社会課題解決】

CI学科は、美術・デザインを学ぶことで身につく力「創造的思考力」を持って、社会の中で実践的に学ぶことを目的として、2019年に開設し、2023年3月に第1期生を輩出いたしました。

CI学科の学生は、入学後2年間、本学鷹の台キャンパスで美術・デザインの基礎、フィールドリサーチ、イノベーションに関する歴史的背景を学びます。3年次からは、市ヶ谷キャンパスで、提携企業・自治体等と連携したプロジェクト型授業を通じて社会と共創していきます。

本プロジェクトを含め、企業や自治体等と連携し、持続可能な未来社会について、様々な分野の専門家と対話しながら、実社会における様々な課題に取り組んでいます。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス事務室

rcsc_staff@musabi.ac.jp